

令和2年度第1回社会教育委員会議概要

開催日時 令和2年7月27日(月)午後7時30分～

開催場所 オアシス講座室1、2

出席した委員 議長 北井 一男
副議長 吉見 静香
委員 青木 宏之
委員 石川 宣彦
委員 大東 則之
委員 織部 芳一
委員 川本 町子
委員 小林 圭
委員 小森 美智代
委員 榊田 和之
委員 坂下 朋子
委員 辻野 恭子
委員 永井 弓
委員 野田 文子
委員 山本 理 15名参加

出席した職員 教育長 新子 寿一
社会教育課長 磯部 賢二
社会教育課長補佐 巽 耕一
社会教育課主査 林 利江子
社会教育課主務 山田 幸

資料

- ・令和2年度第1回社会教育委員会議次第
- ・社会教育委員会議議長、副議長並びに社会教育委員会議より選出する委員名簿
- ・令和2年度社会教育委員会議事業予定
- ・「かしわらの青少年健全育成を考える2021」開催要項(案)
- ・(参考)「かしわらの青少年健全育成を考える〇〇」の開催状況

- ・社会教育事業(現「かしわらの青少年健全育成を考える〇〇」について)
- ・民法の成年年齢引き下げに伴う成人式の在り方アンケートについて
- ・柏原市生涯学習推進計画
- ・「すいれん」(柏原地区更生保護女性会発行)

会議の要旨について

1. 開会

出欠確認 ⇒ 15名全員出席 <会議の成立要件の過半数の出席を確認。>

2. 教育長挨拶

3. 議長挨拶

4. 委員自己紹介

委員 副議長より順に自己紹介

5. 事務局紹介

6. 議事

(1) 議長・副議長並びに社会教育委員会から選出する委員について

今年度の選出方法について事務局より報告。

★従来は第1回目の会議での選出となるが、新型コロナウイルス感染拡大防止により会議の開催ができなかったため、5月7日に推薦による受付を開始し、議長に北井委員、副議長に吉見委員の他薦をいただいた。選出委員は推薦がなかったため過去の選出委員等を参考に選出委員の案を作成し、5月18日から25日にて書面審議を行い、全員一致で承認いただいた。

また、今後新たな委員の選出が必要な場合は、議長に一任いただくことについて承認いただく。

(2) 令和2年度社会教育委員会事業予定について

今年度の事業予定について事務局より報告

★5月18日 委嘱状送付

7月27日 第1回社会教育委員会

9月11日 近畿地区社会教育研究大会(堺市)今年度中止、次年度に延期

11月11日 全国社会教育研究大会 今年度開催未定

- 1 1 月 第 2 回社会教育委員会議
- 1 2 月 中河内・南河内地区社会教育研究協議会 柏原市幹事市開催未定
- 1 月 成人式 開催予定。ただし新型コロナ防止対策等を行ったうえで開催を検討。主催、来賓などについても、縮小を検討。
- 2 月 6 日 かしわらの青少年健全育成を考える 2 0 2 1 (案)
ただし、新型コロナのため開催未定。9 月または 1 0 月を目途に開催の有無決定

3 月 第 3 回社会教育委員会議

ただし、新型コロナの感染拡大状況により変更の場合あり

質問：中河内・南河内地区社会教育研究協議会が中止の場合、次年度に延期の場合幹事市も延期か？

⇒回答：まだ何も決まっていないが、延期の可能性が高い。

(3) 「かしわらの青少年健全育成を考える 2021」(案)【社会教育講演会】について

大きく分けて基本テーマのみを検討する「今年度について」と「次年度以降について」に分けて検討

★「今年度について」主な委員の意見

- ・ 昨年やっていたとおりの何名か候補を出していただきそこから選出。
- ・ 昨年候補にまで上がった方についても再度候補としてあげていただければ。
- ・ あまり時間がないので去年度同様がよい。
- ・ 子育て世代が来ていただくために魅力的な人を連れてくる必要がある。
- ・ 健全育成の関係者にもうちちょっと深掘してもいいのでは。
- ・ 今年度は例年通りの方式でよい。
- ・ 「青少年の健全育成」というテーマが堅苦しいのかうまく伝わっていない。もう少し柔らかいテーマにしたらいいのでは。

⇒例年通り講演会方式で令和 3 年 2 月 6 日 (土) 13 時 30 分からリビエールホール小ホールで行う。テーマについては「かしわらの青少年健全育成を考える〇〇」というテーマを外し、講師の人の内容を聞きながらテーマを検討する。

(講師については次回複数候補選出、チラシの配付方法も引き続き検討、ただし、開催の有無は 9 月または 10 月に決定する)

★「次年度以降について」主な委員の意見

- ・ 健全育成会議のようなものを開催、輪番等で中学校区ごとに健全育成に携わっている関係者に来てもらいパネルディスカッションのような方式で行う。社会教育委員と健全育成会で会議を行う。地域を巻き込むことにより、自分の地域ということで向上心を持ってもらう。
- ・ 校区ごとに集まって話す会議というものはよい。団体において活動を活性化することは育成者に負担がかかっている。また地域や団体の役員などは、特定の人に

集まりがちで一人の人が複数の役を行っている状況である。地域力の低下が目立つので、「子どもも大人も笑顔になれる地域活動」というテーマで地域力の向上を目指したらよいのでは。

- ・2年に1回は講演会でもよい。
 - ・「健全育成」ということで、集客に二の足を踏んでいる。
 - ・映画鑑賞なども良いのでは。
 - ・養護施設、自立支援施設といったところのお話などもよいかも
 - ・健全育成は、親、先生、地域の3つで成り立っている。考え方や価値観のずれが調整できる交流の場になれば。
 - ・地域で活動されている団体同士交流する機会が少ない。皆さんに啓発する機会であっても良い。
 - ・一般の方をターゲットにするのであれば、健全育成会の発表会だけにすれば関係者しか来ないのかなと思う。一般の方が来やすいように、映画鑑賞を行いそのあとに健全育成の講演会や研修などでもよいのでは。
 - ・周知方法ですが、学校に配付以外に対象世代が集まる場所に広告すべき。
 - ・研究会、討議等になるとかえって一般の方の足は遠のく。例えば2部構成で1部はコンセプトをもって何か話を聞いてもらい、そのあと勉強会等がよいのでは、自分から発表等になると厳しいと思う。
 - ・やはり知名度がある方が集客はしやすい。
 - ・人気だけで講演会の中身とテーマが一致していない場合もあるので選択が必要。
 - ・各校のイベントで影の薄い子や活発でない子などそのような子にも目を配れるように大人が感性を磨く人間力が必要、社会教育委員として年度ごとに指針を示して行動しては。
 - ・これまで「かしわら青少年健全育成を考える」として長年大事にしていたことは守っていくのも一つでは。集客方法を考え進めてはどうか。
 - ・予算配分も難しいと思うので毎年、同じことをするのではなくて見学会などいろいろなことを行い(通年は予算をプールし)、数年に1回は講演会を行うなどメリハリを付けてもよいのでは。
- ⇒意見を事務局で集約し、次回会議で再度審議していただく。他に意見があれば、事務局に提出。

(社会教育委員に会議概要を送付。ご意見等について事務局に送付していただく。)

(4) 民法の成年年齢引き下げに伴う成人式の在り方アンケートについて

成年年齢引き下げに伴う成人式の在り方について実際に改正が行われる令和4年度の対象者全員にアンケート調査を9月実施予定であることを報告。

(5) 生涯学習推進計画について

事務局より生涯学習推進計画について今後の予定を報告。

★令和4年度より新たな生涯学習推進計画の策定を予定、今年度は市民アンケート等で意識・ニーズ調査を行う予定、皆様のご指導助言をいただくとともに令和3年度策定委員会設置時には委員選出について協力を依頼。

7. その他

特になし

8. 閉 会

吉見副議長挨拶